

新旧対照表（令和4年度アンケート・令和8年度アンケート（案））

R4問	R8問	大分類	内容	事由	説明
問5		余暇の過ごし方	<p>あなたは、自分の好きなことができる時間には、主にどのようなことをして過ごしていますか。</p> <p>1. 何もせずにゴロ寝で過ごす 2. テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす                      3. ゲームやインターネットをして過ごす 4. 家族との団らんを楽しむ                      5. 運動・スポーツをする 6. ドライブや旅行に出かける                      7. 新聞・雑誌・本を読む 8. ショッピング・買い物をする                      9. 音楽を聴いたり映画をみたりする 10. 手芸・庭いじり・日曜大工などをする                      11. ボランティア活動をする 12. その他</p>	削除	<p>●削除理由</p> <p>①. 運動・スポーツの選択率が低く、減少傾向</p> <p>【引用】                      好きなことができる時間の過ごし方は、「テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす」が47.6%と最も多く、次いで「ゲームやインターネットをして過ごす」が29.4%、「ショッピング・買い物をする」が29.0%などとなっています。「運動・スポーツをする」は14.8%となっています。</p> <p>【引用元】アンケート結果報告書 R4年度.pdf (P.15)</p> <p>「運動・スポーツをする」：14.8%（H28年度：16.1%から減少）、テレビ視聴47.6%、ゲーム・ネット29.4%に大差</p> <p>②. 間接的質問より直接的測定を優先                      余暇の過ごし方という間接的アプローチでは実態把握が不十分                      R8年度問11で4つの視点から運動頻度を直接測定する方式に変更                      京都府の調査方式に統一し、比較可能性を確保</p>
問19		総合型地域スポーツクラブ	<p>あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。（1つに○）</p> <p>1. 知っている                      2. 知らない</p>	削除	<p>●削除理由</p> <p>①. 認知度が極めて低く、改善が見られない</p> <p>【引用】                      総合型地域スポーツクラブの認知度は、「知っている」が12.0%、「知らない」が85.1%となっています。</p> <p>【引用元】アンケート結果報告書 R4年度.pdf (P.51)</p> <p>認知度：12.0%（H28年度：9.1%から2.9ポイント改善のみ）                      市内に2つのクラブがあるが、約6年間で浸透せず、若年層の認知度が特に低い（20代：9.8%、30代：11.9%）</p> <p>②. R8年度問19で把握可能                      問19「それはどのような団体ですか」の選択肢に「総合型地域スポーツクラブを含む」が含まれる                      重複を避け、アンケートの効率化</p> <p>③. 施策の方向性が「部活動の地域移行」にシフト                      R8年度問28で「部活動の地域移行の認知度」を新設、より具体的な地域スポーツ環境整備を優先</p>
問20		スポーツイベント参加	<p>あなたは、京丹後市が主催しているスポーツイベントに参加したことがありますか。（1つに○）</p> <p>1. ある                      2. ない</p>	削除	<p>●削除理由</p> <p>①. 参加率が低く、認知度も低い</p> <p>【引用】                      京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況は、「知らない」が41.0%と最も多く、次いで「知っているが、参加したことがない」が38.7%、「参加したことがある」が19.1%となっています。</p> <p>【引用元】アンケート結果報告書 R4年度.pdf (P.52)</p> <p>参加率：19.1%（約8割が参加していない）                      「知らない」：41.0%（約4割が存在を知らない）</p> <p>②. 年代差が大きい</p> <p>【引用】                      年代で見ると20歳代が26.0%と最も高く、70歳代は10.2%と低い結果となっています。</p> <p>【引用元】スポーツ推進計画 R5年改訂.pdf (P.24)</p> <p>③. R8年度問23で包括的に把握可能                      問28「京丹後市がスポーツ振興で特に力をいれるべきこと」の選択肢に「誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催」                      過去の実績よりも、今後のニーズ把握を優先</p>

R4 問	R8 問	大分類	内容	事由	説明
問 2 1		ニュース ポーツ	<p>あなたが行ったことのあるニュースポーツをお選びください。 (○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>きばれえ</li> <li>ビーチボールバレー</li> <li>ペタンク</li> <li>ファミリーバドミントン</li> <li>ノルディックウォーキング</li> <li>その他</li> <li>いずれも行ったことがない</li> </ol>	削除	<p>● 削除理由</p> <p>①. 実施率が極めて低い 【引用】 ニュースポーツについては、「行ったことがない」との回答が約6割を占めています。行ったことがあるニュースポーツは、「ファミリーバドミントン」が7.7%、「ペタンク」が7.1%、「きばれえ」が6.6%、「ビーチボールバレー」が6.2%「ノルディックウォーキング」が4.9%となっています。 【引用元】 アンケート結果報告書 R4年度.pdf (P.54) 「いずれも行ったことがない」：59.8%、最も高いファミリーバドミントンでも7.7%</p> <p>②. コロナ禍で活動が大幅減少 【引用】 令和4年度では、感染予防策を講じながら、活動を再開したこともあり、実施回数及び参加人数が増加しましたが、コロナ前の数値には、まだ戻っていません。 ■ ニュースポーツの活動状況 令和元年度：実施回数103回、参加人数1,622人 令和4年度：実施回数69回、参加人数821人 【引用元】 スポーツ推進計画 R5年改訂.pdf (P.12)、実施回数33%減、参加人数49%減</p> <p>③. 設問8「行っている運動・行いたい運動」に統合</p>
問 2 6		障害者ス ポーツの 振興	<p>障害者が、日常生活の中で、気軽に運動やスポーツができるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備</li> <li>きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催</li> <li>障害者をサポートするスポーツボランティアの養成</li> <li>障害者スポーツ指導者の養成</li> <li>障害者スポーツに関する情報提供の充実</li> <li>障害者が参加できるスポーツ大会やイベントの開催</li> <li>障害者と健常者が一緒に楽しめるスポーツの普及</li> <li>その他</li> <li>特にない</li> </ol>	削除	<p>● 削除理由</p> <p>①. R8年度問30に統合 問30「今後のスポーツ振興で力を入れるべきこと」の選択肢「3. 障害者スポーツの推進」で包括的に把握 詳細な施策ニーズよりも、全体の中での優先順位を把握することを優先</p> <p>②. 第3期スポーツ基本計画の「共生社会」という枠組みでの捉え直し 【引用】 障害者がスポーツを通じて社会参画することができるよう、障害者スポーツの実施環境を整備するとともに、スポーツを実施していない非実施層に対する関心を高めることや障害者スポーツの体験等による一般社会に対する障害者スポーツの理解啓発に取り組むことにより、人々の意識が変わり、共生社会が実現されることを目指す。 【引用元】 第3期スポーツ基本計画 本文.pdf (P.56) 障害者スポーツを特別視せず、「共生社会の実現」という大きな枠組みに位置づけ</p> <p>■ R4年度調査結果 【引用】 障害者スポーツの振興のために必要と思われることは、「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備」が58.4%と最も多く、次いで「きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催」が29.7%、「障害者をサポートするスポーツボランティアの養成」が29.1%、「障害者スポーツ指導者の養成」が29.0%などとなっています。 【引用元】 アンケート結果報告書 R4年度.pdf (P.62) 「施設・設備の整備」が突出して高い(58.4%)</p>

R4 問	R8 問	大分類	内容	事由	説明
	問 2 8	学校の部 活動の地 域移行	学校の部活動の地域移行（地域のスポーツクラブ等で活動）について、ご存じですか。（1つに○） 1. 内容を知っている。 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない 3. 知らない	新設	<p>●新設理由</p> <p>①. 国の運動部活動改革方針への対応 【引用】 学校部活動の地域移行については、国の方針に基づき、京都府や関係団体と連携しながら、地域の実情に応じた取組を進めていく必要があります。 【引用元】スポーツ推進計画 R5年改訂.pdf (P.25) 令和5～7年度が改革推進期間 休日の部活動を段階的に地域移行</p> <p>②. 第3期スポーツ基本計画の重点施策 【引用】 運動部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備を進める 【引用元】第3期スポーツ基本計画 本文.pdf (P.63)</p> <p>③. 京都府の「京都式部活動改革」推進 【引用】 京都府では、令和5年度から「京都式部活動改革」として、休日の部活動の地域移行に向けた取組を進めています。 【引用元】京都府スポーツ推進計画.pdf (P.28)</p> <p>💡新設の意義 改革推進期間中の市民認知度把握、周知・啓発施策への反映、地域の受け皿整備の検討材料、子育て世代（30～40代）の認知度を重点把握</p>
	問 1 2	スポーツ 観戦の頻 度	問12. あなたは、スポーツを観戦（テレビ・インターネット配信を含む）しますか。（ひとつに○） 1.よく観戦する（週1回以上） 2.時々観戦する（月1～3回程度） 3.ほとんど観戦しない（年に数回程度） 4.全く観戦しない	新設	<p>●新設理由</p> <p>①. 京都府の「スポーツ関連率」測定への対応 【引用】 週1回以上、運動・スポーツに「する」「みる」「ささえる」のいずれかにおいて関わりがあった人の割合を「スポーツ関連率」として測定。令和4（2022）年、週1回以上、運動やスポーツに「する」「みる」「ささえる」のいずれかに関わった成人の割合は70.8%となっています。 【引用元】京都府スポーツ推進計画.pdf (P.2, P.10) 京都府独自指標「スポーツ関連率」：70.8%、「する」だけでなく「みる」「ささえる」を含めた包括的参画率</p> <p>②. 京都府のスポーツ観戦率 【引用】 令和4（2022）年度、週1回以上の運動やスポーツを観戦した成人の割合は35.2%となっています。 【引用元】京都府スポーツ推進計画.pdf (P.10) 京都府：週1回以上観戦率35.2%、京丹後市の実態把握が必要</p> <p>③. WMG2027関西・スポーツ観光への対応 【引用】 ワールドマスターズゲームズ2027関西では、京丹後市でカヌー競技が開催されます。 【引用元】スポーツ推進計画 R5年改訂.pdf (P.24) 「会場で直接観戦」する層の把握、スポーツツーリズムの潜在需要測定</p> <p>💡新設の意義 スポーツ関連率の向上（「する」40.9%+「みる」）、運動が苦手な層も「みる」で関われる デジタル化時代の観戦スタイル把握、WMG2027の観客動員見込み</p>

R4 問	R8 問	大分類	内容	事由	説明
	問 2 9		<p>子どものスポーツ活動について、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）</p> <p>1. 学校の体育・スポーツ活動の充実 2. 部活動の充実 3. 地域のスポーツクラブ・団体の充実 4. スポーツ少年団の充実 5. 子ども向けスポーツ教室の充実 6. 指導者の育成・確保 7. スポーツ施設の整備 8. 安全に遊べる場所の確保 9. 特にない 10. その他</p>	新設	<p>● 新設理由</p> <p>①. 子どもの体力低下への対応 【引用】 子どもの体力については、昭和60年頃から現在まで低下傾向が続いており、また、運動する子とそうでない子の二極化が進んでいる。 【引用元】第3期スポーツ基本計画 本文.pdf (P.59)</p> <p>②. 京丹後市の現状 【引用】 令和4年度実施のスポーツに関する市民意識調査（アンケート）結果から、子どもを取り巻くスポーツ環境について、「身近な場所でスポーツができる環境が整っている」と回答した人は28.9%にとどまっています。 【引用元】スポーツ推進計画 R5年改訂.pdf (P.24) 「身近な場所でスポーツができる環境」：28.9%、子どものスポーツ環境整備が課題</p> <p>③. 部活動の地域移行との連動 問28と連動し、学校部活動以外の環境整備が急務 地域での受け皿づくりの方向性を把握</p> <p>💡 新設の意義 ハード面（公園・広場）とソフト面（教室・指導者）の優先順位把握 部活動改革と連動した施策立案、第3次計画の子ども施策への反映</p>
	問 3 0		<p>今後、京丹後市のスポーツ振興で特に力を入れるべきだと思われることは何ですか。（あてはまるもの3つまでに〇）</p> <p>1. 子どもの体力向上・運動機会の充実 2. 高齢者の健康づくり・介護予防 3. 障害者スポーツの推進 4. 競技スポーツの強化・トップアスリートの育成 5. スポーツを通じた地域活性化・交流人口の拡大 6. スポーツ施設の老朽化対策・整備 7. スポーツ指導者・ボランティアの育成 8. 誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催 9. スポーツと健康・観光の連携 10. デジタル技術を活用したスポーツの推進（オンライン教室など） 11. その他</p>	新設	<p>● 新設理由</p> <p>①. 第3次スポーツ推進計画策定に向けた重点施策の優先順位把握 R8年度調査結果を第3次計画（令和8年度～）に直接反映 市民ニーズに基づく施策の重点化</p> <p>②. 第3期スポーツ基本計画の重点施策を網羅 共生社会（障害者・女性）、健康増進、地域活性化など国の重点施策を選択肢に反映</p> <p>③. 新たな視点「デジタル技術の活用」を追加 【引用】 デジタル技術の活用により、スポーツの価値を高め、スポーツへのアクセスを容易にし、スポーツを通じた新たな価値の創造を目指す。 【引用元】第3期スポーツ基本計画 本文.pdf (P.85)</p> <p>④. 問26（障害者スポーツ）の統合 R4年度問26を削除し、問30の選択肢「3. 障害者スポーツの推進」で包括的に把握 全体の中での相対的な優先順位を測定</p> <p>💡 新設の意義 第3次計画策定の最重要設問、上位3つを重点施策に位置づけ、予算配分の根拠データ、国・府の計画との整合性確保</p>

R4 問	R8 問	大分類	内容	事由	説明
	問 3 1		<p>あなたは、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」をご存じですか。（1つに○）※30歳以上であればだれでも参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会で、2027年に関西で開催予定です。京丹後市では、カヌー競技が開催されます。</p> <p>1. 内容を知っている。 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない 3. 知らない</p>	新設	<p>● 新設理由</p> <p>①. 京丹後市でカヌー競技開催 【引用】 ワールドマスターズゲームズ2027関西では、京丹後市でカヌー競技が開催されます。 【引用元】スポーツ推進計画 R5年改訂.pdf (P.24) 京丹後市が開催地（久美浜湾カヌー競技場） 2027年5月開催予定</p> <p>②. 東京2020オリンピックのレガシー継承 【引用】 東京2020オリンピックホストタウンとして、カヌー競技の事前合宿を久美浜湾カヌー競技場で受入実施。（スペイン：17人、ポルトガル：11人、7月18日～7月28日の11日間）[令和3年度] 【引用元】スポーツ推進計画 R5年改訂.pdf (P.23)</p> <p>③. スポーツツーリズム・地域活性化 問12「スポーツ観戦」との関連分析、問30「スポーツを通じた地域活性化・交流人口の拡大」「観光の連携」との連動 観客動員、経済効果の見込み</p> <p>💡 新設の意義 2027年開催に向けた市民認知度把握、認知度が低い場合：PR施策強化、市民参加促進（ボランティア、観戦） スポーツツーリズムの推進</p>
	問 3 2		<p>あなたの性別についてお聞かせください。（1つに○）</p> <p>1. 男性 2. 女性 3. その他←追加項目</p>	選択肢 追加	多様性・共生社会への配慮。性的マイノリティへの配慮を含む包括的な調査設計